

見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和7年2月18日 NO.11

新潟町：雪原を走る信越線列車

雪国とみつけ job チャレ教育に想う～人々の知恵や工夫に感銘～

教育センター運営委員（田井小学校 校長） 笠原 健児



2月の寒波では、市内小学校で授業を短縮するなど、一時は教育活動が困難になるほどでした。ところで私の家は南魚沼市にあり、県内でも有数の豪雪地で、今年も積雪は2mを越えました。家に帰ると相当な時間を雪掘り（雪かきとは言わない）に費やします。

その昔、江戸時代に、この地方の冬の暮らしを広く世の中に伝えた人がいます。塩沢の鈴木牧之という人物で、「北越雪譜」という書で広めました。

そこには、雪国の暮らしや生き抜くための工夫が生き生きと描かれています。江戸の人が知らなかった越後の雪、雪国の暮らしの様子、越後縮、自然、生き物、祭りなどです。この本は当時のベストセラーになったそうです。きっと江戸の人々はこの書を読み、雪国の大変さを知り、ある意味、風情を感じながらも、どうしてそんなところに住むのかなと思ったに違いありません。

実際、こんなに雪が降らなければいいのに…と思うことはよくあります。ところが、この魚沼地方は、縄文時代から人々が住み着いていました。きっと住み続ける良さがあつたはず。確かに、食べ物の様々な保存方法や酒造り、山菜などの食文化や越後縮に代表される織物文化など、雪国ならではの知恵や工夫が現在にも残されています。

そして今も、スキー場や温泉などの観光振興、食文化や農業の活性化、若者の定住促進など、工夫して人口減少や超高齢化に対応していこうとしています。

そう考えると、どの時代も人は様々な場所で、困難を乗り越え、持続可能な社会を目指して、知恵を出し合い、工夫して過ごしてきたことに驚きます。

今年度、「みつけビジネスアイデアコンテスト」が行われました。応募総数は679件。特産品と「〇〇があつたらいいな」を掛け合わせるエクスカージョンの楽しさ、想像力の豊かさに、興味深く取り組んだ児童生徒が多かつたと思います。アドバイザーの新潟大学 伊藤 龍史准教授も、この応募数やアイデアの豊富さに驚いておられました。まさに、児童生徒が知恵を出し合い、工夫している姿がこの取組に見られました。

そして、伊藤准教授は授賞式で、こうも言うておられました。「想像できる多くのことは実現可能である。」見附の子どもたちのアイデアが、未来に向けて小さくても着実な一歩になったことを嬉しく思いました。

学年末がすぐそこです。新しいスタートが待つ春に向かって共に頑張りましょう。

巻頭写真に寄せて 立春の日は、少し暖かった…

◇立春は例年2月4日ですが、地球の公転周期の関係で、今年は3日(月)でした。春が早く来ることはありがたいと思っていたら、前週の天気予報で、「4日(火)から今冬一番の大寒波襲来、それも長く居座る。」と伝えられ、不安の中で、月曜日を迎えました。ところが、この日の午前には太陽が出て、比較的暖かかったです。そこで、11時前に雪原の中を走る列車を撮影しようと、新潟町へ出かけて撮ったものが巻頭写真(上写真)です。また、下写真は、6年前の7月初めの夕方、同じ場所(新潟町：JR信越線の跨線橋方面)で撮影した同月のセンターだよりの巻頭写真です。「写真に寄せて」で『…ちょうど上り普通列車が、跨線橋にさしかかる時でした。夏の青い空に積乱雲の白が、眼前には緑の絨毯のような水田の中を走るローカル列車。鮮やかなコントラストの景色に目を奪われました。見附は景色の素晴らしい場所がいっぱいです。』と載せました。さて、今回の写真も雪原の良い風景だと思いますが、逆光になったことが残念でした。これから春に向け、暖かいい気候になります。皆さんも外へ出て、見附の素晴らしい場所を探してみませんか。



コラム … 教え子からの誘い「ラーメン食べに行こう」…

◇毎年、総務省が2月に発表する、前年の家計調査「ラーメン支出額日本一」を新潟市が山形市と争っている(新潟市は今回も2位であった)が、新潟市に限らず、県民はラーメン好きな人が多い。それは県内には、地域の気候や産業・文化等から生まれた、美味しいラーメンが多くあるからだ。中でも、「長岡生姜醤油」「燕背油」「新潟濃厚味噌」「新潟あっさり醤油」「三条カレー」が特に有名で『新潟5大ラーメン』と呼ばれている。そして、どのラーメンも象徴的な有名店があり、そこから派生した数々のラーメン店で、多種多様な味のラーメンが楽しめる。

◇見附市に住んでいると一番の馴染みは、雪国の知恵として生まれ、体を芯から温めてくれる長岡生姜醤油ラーメンだろうか。このラーメンの有名店は、宮内のA店である。

◇さて、新潟あっさり醤油ラーメンは、古町等の新潟島周辺の屋台で発祥したあっさりとした昔ながらの支那そばである。このラーメンの有名店は、西堀通りのS店(本店)であるが、S店は他に信濃町店・けやき通り店があり、各店を三兄弟でやっていたが、長兄の信濃町店が昨年末で閉店をした。閉店になることを知らないでいたら、教え子のT君が、メールで「S店終わるよ。食べに行こう。」と言う。西堀本店は私が子どもの時から知っていたが、信濃町店は、私がT君の担任をしていた時(30年以上前)、彼に教えられて、二人で食べに行ったのが初めてであった。T君も、今は40代半ばである。

◇年末の土曜日、初めての時と同じに、彼を家まで迎えに行き、店に開店1時間前に着いたが、既に長蛇の列。寒風の中、2時間待ちで店内へ入った。店には、これまで時々行っていたが、最近はずっかりご無沙汰だった。久しぶりの主人は、大鍋振りも大変そうな高齢になっていた。初めて行った日と同じに「ラーメン2つと炒飯1つ。」と注文をすると、奥様が笑顔で「炒飯は半々ずつね。」と笑顔で言って、二皿にしてくれた。食べ納めのラーメンと炒飯を二人で味わって食べた。名店の閉店は寂しいが、美味しい味は忘れないと思う。

◇このT君のように、教え子たちが様々な連絡をくれるおかげで、私は色々楽しい時間を過ごさせてもらっている。教師は担任時だけでなく、子どもたちといつまでも素敵な関わりが持てる『最高に楽しい職業だ。』と、年を重ねて、より強く思っている。(こ)



4時から夢塾 『生徒の力はすごい』

第16回「4時から夢塾」(校長メッセージ)では、1月23日(木)に、今町中学校の星野晴重校長先生から、『中学教員38年を振り返り、今、思うこと』の演題でご指導をいただいた。内容を簡単に記す。



星野 晴重 先生

1 授業 ☆生徒の意見を大事にしたい

- ・前時の生徒の考えを座席表資料として与え、話し合いの授業を行う。→授業づくりは1時間ではなく、単元としてとらえること。→生徒の思考の深化、広がり生まれる。また、生徒の発言やつぶやき、変化を見取ることが、とても大切である。
- ・大学入学共通テストの地理歴史が暗記から考察へ変わる。→中学校の授業も変わっていく。

2 学年・学級経営 生徒指導 ☆生徒の力はすごい!

- ・「今、学級の問題がわかった。先生、この授業を私たちに下さい。」と、級長が言ってきた。→生徒たちで問題を解決した。中学校3年間で、任せられる子(学級)に育てることが大事。
- ・一人よりみんなで…生徒指導もイベントも、人を巻き込んでいくと、上手くいく。

3 生徒会活動 ☆中学校において 生徒会の力はとてつもなく大きい

- ・学校分離・イベント→新年度選挙、委員会再編→盛り上がりの体育祭。
- ・生徒会が学校の伝統、文化をつくる。学校経営に不可欠である。

4 地域連携・PTA ☆親も地域も主体的でありたい

- ・凧協会や部活動(卓球・バレー)、挨拶運動等、地域から協力を得ている。
- ・生徒も地域行事に参加をして、町を活気づけて、郷土愛を育てている。

5 部活動 ☆(28年間の部活動顧問) 私たちの頃は魅力ある仕事だった

- ・部活動が中心…朝練7:30-8:00 平日16:00- 休日もやった。
- ・生徒、保護者とともに頑張ったことが、良い思い出である。

6 終わりに ☆上手くいったのは生徒のお陰 失敗したのは自分のせい

- ・生徒は一生懸命やっている。可能性は無限大 その可能性を育てたい。
- ・周囲に感謝し、自分を認めること。このとき、自分の評価は過大にも過少にも評価しない。
- ・心身の健康が第一である。健康で働きたい。



<参加者の声>

- ・私も「周囲に感謝」「自分を認める」を大切にしていきたいと思った。
- ・授業が中心にあり、発言や変化を見取る姿勢が、生徒会や部活動指導に表れていると感じた。
- ・本当に生徒のことを思い、生徒に向き合って、教員生活を過ごされてきたことが分かった。
- ・人を育てるためには、「人を信じて任せることが大切だ。」ということを改めて学んだ。
- ・学校を介さなくても、生徒が主体的に地域に入る。貢献することができたら…大切な視点だ。
- ・一人の百歩より百人の一步、チーム(みな)で力を合わせることを忘れずにいたいと思った。
- ・上手くいったのは生徒のおかげ…、生徒が学校の伝統・文化を創る…いい言葉が沢山聞けた。





令和6年度「4時から夢塾」実施報告



回	内 容	実施日	講 師	参加数
1	カリキュラム・マネジメント概念の理解	5/23	新潟大学名誉教授 宮菌衛先生	2 1
2	感覚の不思議～脳が生み出す空想世界～	5/31	県立教育センター 須貝哲二先生	2 2
3	運動感覚の獲得 ～PART II～	6/20	新潟県立大学教授 伊藤巨志先生	3 3
4	小学校 GIGA 研修 Google フォーム作成	6/11	見附小学校 渡邊 優希 先生	2 9
5	示範授業 (中)道徳 1年 友情、信頼	6/24	附属長岡中学校 藤楨悠太先生	1 0
6	アントレプレナーシップ教育とは何か	6/27	義務教育課指導主事 岩野学先生	2 2
7	子どもとの関係を再構築する	7/ 3	青葉台小学校古田島真樹校長先生	2 0
8	私と特別支援教育	7/17	見附特別支援学校 月岡秀也校長先生	2 2
9	メディアの子どもへの心身への影響	7/23	長岡赤十字病院 田中 篤 医師	2 4
10	子どもへの寄り添い方	7/29	公認心理師 寺島 幸優 先生	3 3
11	示範授業(小)英語 6年性格や特徴を表す	10/10	附属長岡小学校 高野真之介先生	2 5
12	示範授業 (中)数学 3年 多項式の計算	11/21	附属長岡中学校 白井康智先生	1 1
13	示範授業(小)体育 6年ボール簡素化ゲーム	11/26	附属長岡小学校 込山 翼 先生	2 6
14	夢を持って、楽しむ!	12/ 6	見附第二小学校下村芳明校長先生	2 5
15	どう伝える? どう伝わる?	12/18	葛巻小学校 白井 敦 校長先生	3 7
16	中学教員 38年間を振り返り今、思うこと	1/23	今町中学校 星野晴重 校長先生	2 4

合計参加数 3 8 4

1 今年度の重点 ◇喫緊の課題を講座設定する。

- 優れた実践者を招へいし、「わかる・楽しい」授業を目指した授業力向上講座
 - ・タブレット端末活用(GIGA)講座は、市内の優れた実践者を指導者に示範授業の実施
- 子ども・保護者への寄り添い方の講座（不登校や人間関係づくりの苦手克服に向けた研修）
 - ・子どもや保護者への上手な寄り添い方、対応の仕方についての講座の実施
- 子どもの心身の発達の確かな理解講座
 - ・医師、心理カウンセラー、学校カウンセラースーパーバイザー等による講座



2 一年間を振り返って

- 幅広い分野から講師を招き、授業改善や指導力・資質向上を図る講座が実施できた。
- 不登校対応に、医師や心理カウンセラー、学校カウンセラースーパーバイザーの「子どもの心身の健康」「不登校傾向児への上手な対応」講座は、学びの多い有効な内容であった。
- GIGA の研修は、市内の優れた実践者から授業公開をしていただき、参加者に刺激を与えた。
- 参加を希望制にした。学校により参加数が異なった。一人2回以上の参加要請が必要。

3 次年度に向けて

- 次年度も教職員の要望に応じて、指導力・資質の向上に向けた講座の開設に努めたい。
- 参加者の負担にならない講座内容を目指したい。参加者の少ない学校への働きかけを図る。

2月

科学教育部



《今月の1枚》

トリの羽根のような車窓の凍結 市野坪町

【事業アンケートのご協力ありがとうございました】

当センター科学教育部の事業アンケートにご協力いただきありがとうございました。先生方から回答いただいた内容を今後の研修会等に生かしていきます。

アンケートの内容から研修会への参加以外にも「教育センターだより」、「e-fileのワークシート等」をよく活用していただいていることがわかりました。ありがとうございます。これからも、ほっと一息つけるようなお便りを発行していきます。

理科授業の準備の負担が少しでも減ることや、単元の指導の見通しが立つなど先生方に時間的・心理的な余裕が生まれるセンター運営を目指していきたいと思えます。

理科に関することでお困りのことがございましたら、ぜひ、教育センター科学教育部までお気軽にご連絡をください。一緒に解決策を探りましょう。

教育センター科学教育部を利用してよかった点、来年度、望むこと等ありましたら、自由にお書きください。

- ・研修会参加の折に、安価にできる実験用具を提示してもらえるので、予算の範囲内で理科室の用具を作ることができる。
- ・自己流の指導に陥りそうになる時に、研修会に参加すると大切な視点をもてたり新しい考え方を身に付けることができたりするのが良かった。
- ・おたよりで、地域の話や季節に関することは生徒との話題にやすく、特別支援学級の生徒にも紹介しやすいものがあって助かりました。
- ・いつでも相談ができ、要請に対してすぐ対応してくださるので心強く感じています。いつも本当にありがとうございます。
- ・学習指導のアイデアを教えていただき、大いに授業改善の参考になった。
- ・研修会に参加すると、すぐに授業に生かせる内容を教えてもらえ、とても勉強になり、今年度も取り入れさせてもらい、生徒が喜んで実験に取り組んでいた点が良かった。
- ・理科指導に困った時の駆け込み寺としての理センの存在を、いつも心強く思っています。
- ・実際に話をしながら、その単元について研修することで自信を持って授業することができます。いつもよい研修の機会をいただきありがとうございます。
- ・相談した内容について丁寧に対応していただきました。ありがとうございました。
- ・教材研究の時間を確実に取ることができた。
- ・オオカナダモを譲っていただき助かりました。また、教室では困難であった廃液処理も手伝っていただき、非常に感謝しております。
- ・知りたいことにじっくり取り組ませてもらえるのは、大変ありがたいです。
- ・タブレットや携帯のカメラ機能の活用法なども、研修の中で教えていただいた。ちょっとした実験、観察のコツかもしれないが、教えていただけてありがたかったです。

科学の公園

自由試行のススメ～子どもの発見の力～

自然の事物現象に触れ、自ら問題を発見することが問題解決の過程で思考力を育むために重要とされる。子どもが自由試行でものづくりや、実験を行うことで問題発見・課題設定につながる。中学校での自由試行の実践を紹介する。

初めて触れる単元などにおいて、小学校でも積極的に取り入れていきたいものである。

【単元：化学変化と電池～化学電池の実用化を考えよう～】

本単元の流れとして、自由試行を取り入れながら、科学の歴史と照らし合わせ実用的な電池がどのように作られているか考えた。

① 化学電池ができる条件について、自由試行を通して見出す。

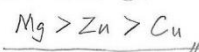
【水 フルーツジュース 食塩 亜鉛版2枚 銅板2枚】を自由に使い、電子オルゴールが鳴る条件を整理した。生徒は、種類の違う金属板を使うことや、その金属板を接触させないこと、電解質水溶液を用いることなど、化学電池が成り立つ条件を見出だしていった。

② 化学電池の電圧を大きくする条件について、自由試行を通して見出す。

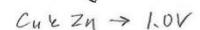
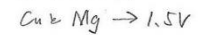
①で見出した条件を基に、より電圧の大きい電池にするための条件について仮説を立案し調べた。水溶液の濃度を上げること、金属板の表面積を増やすことなど、電子のやりとりを活発にする方法を考案し、電池を作成した。その過程で、既習の資料として触れていた金属のイオン化傾向に気付き、用意した3～4種類の金属のイオン化傾向について調べ、より電圧が大きくなる電極を選び、使用した。

	Mg ²⁺	Zn ²⁺	Cu ²⁺
Mg	なし	反応あり 気体出	反応あり 気体出
Zn	反応あり 黒くなる	なし	反応あり 黒くなる
Cu	なし	なし	なし

イオン化傾向



オレンジジュース



③ 化学電池をコンパクトかつ、安定させる条件について自由試行を通して見出す。

家庭で電化製品を使用するようなイメージで、コンパクトかつある程度の電圧を確保するために、水溶液をろ紙に湿らせてこぼれない電池の工夫や、電池を重ねて直列回路で組み合わせることで電圧を確保した。

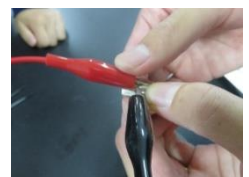


④ 化学電池の改良の歴史から、ダニエル電池に至る過程について追実験をする。

モデル図の作成を通して、ボルタ電池からダニエル電池に至るまでの流れを、追実験を行った。実際に作成したダニエル電池を基に、化学電池の仕組みとしてイオンの様子や電子の移動を自分で表現することができた。

⑤ ダニエル電池の原理を生かした化学電池を自由に作成する。

実際にダニエル電池を作成した後に、今までの条件を組み合わせることで実用可能なコンパクトさと、ある程度の電圧を実現した電池を作成することができた。



当センター科学教育部兼任所員の早田浩延先生からご寄稿いただきました。